

平成 28 年度仙台市障害者等保健福祉基礎調査

アンケート調査概要

1 調査の目的

次期「仙台市障害者保健福祉計画」及び第 5 期「仙台市障害福祉計画」の策定にあたり、市内に在住する障害者の実態、保健福祉サービスの利用動向・利用意向を調査するとともに、市民の障害者に対する認識の状況等を把握し、計画策定の基礎資料とする。

2 調査方法

仙台市内に在住する障害者、障害者がいる家族、市民に対して、調査票を郵送もしくは関係団体経由で配布し、返信用封筒にて返信していただく。

3 実施期間（予定）

平成 28 年 12 月上旬～12 月下旬

4 対象者及び配布予定数

平成 22 年度に実施したアンケート調査の対象者に加えて、新たに身体障害者本人を 65 歳未満と 65 歳以上に分類し、さらに発達障害（児）者本人を加えた。また、目標回収率については、平成 22 年度の調査実績から目標回収率を 55.0%と設定した。なお、母数が少ない調査対象者への配布については、可能な限り多くの方に配布するものとする。（平成 22 年度と平成 28 年度の調査票の配布数の比較については、参考資料 2 を参照）

調 査 対 象 者	H28 配布 予定数
① 身体障害者本人（65 歳未満）	700 名
② 身体障害者本人（65 歳以上）	700 名
③ 知的障害者本人	700 名
④ 知的障害者の家族	500 名
⑤ 障害児の家族（18 歳未満）	500 名
⑥ 精神障害者本人（通院）	700 名
⑦ 精神障害者本人（入院）	300 名
⑧ 精神障害者の家族	500 名
⑨ 難病患者本人	700 名
⑩ 発達障害（児）者本人	300 名
⑪ 発達障害（児）者の家族	300 名
⑫ 市民	700 名
合 計	6,600 名

5 対象者の抽出方法

対象者を障害者基本システム・住民基本台帳システムで抽出できる場合は、システム上の名簿から無作為抽出を行い、郵送にて調査票を配布する。また、対象者をシステムで抽出できない場合は、それぞれの障害種別に関係する団体等を経由して対象者に調査票を配布する。団体等経由で調査票を配布する対象者については、平成 22 年に配布を依頼した団体を参考に構成する。（平成 22 年度調査票配布依頼先一覧については、参考資料 3 を参照）

(1) 手帳所持者及び難病医療費助成受給者に対して無作為抽出を行う

- ・ 身体障害者本人（65 歳未満）
- ・ 身体障害者本人（65 歳以上）
- ・ 知的障害者本人
- ・ 精神障害者本人（通院）
- ・ 難病患者本人

(2) 住民基本台帳の名簿から無作為抽出を行う

- ・ 市民

(3) 関係団体に調査票の配布を依頼する

- ・ 知的障害者の家族
- ・ 障害児の家族（18 歳未満）
- ・ 精神障害者本人（入院）
- ・ 精神障害者の家族
- ・ 発達障害（児）者本人
- ・ 発達障害（児）者の家族

6 調査内容

13 の分野について、共通質問項目と独自の質問項目を設定する。質問数は 60 個程度とし、昨今の法律改正等による環境変化を踏まえた質問項目を設定する。但し、調査対象者の経年変化を捉えるため、可能な限り前回実施した質問項目を活用するものとする。（近年の主な法改正の状況については、参考資料 4 を参照）

《分野》

A. 基本的な属性	F. 社会参加	K. 緊急時の対応
B. 住まいと暮らし	G. 健康・医療	L. 自由記述
C. 所得状況	H. 福祉サービス	M. 障害理解
D. 日常生活	I. 相談機能	
E. 就労状況	J. 権利擁護	